

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携訓練

南海トラフ巨大地震に備えて 「広域連携防災訓練」を実施！



平成26年8月31日（日）

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会

事務局：中部地方整備局（「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」事務局）

愛知県

（「東海四県三市防災・危機管理に関する連絡会議」事務局）

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携訓練

訓練目的

南海トラフ巨大地震を想定した、広域かつ甚大な被害が予想される大規模災害に備え「南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会」を構成する、「東海四県三市防災・危機管理に関する連絡会議」と、「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」が相互に緊密かつ有機的な連携し、**各機関の防災対策の役割を確認**する。

また、中部地方各県との連携体制の検証や中部圏戦略会議構成機関等による実動訓練により**広域連携体制の強化**を図る。

訓練概要

1. 中部圏戦略会議訓練

- ①中部地方整備局災害対策本部にて情報収集・伝達訓練
- ②名古屋港における漂流者の捜索と救助、航路啓開、緊急物資の海上輸送等
- ③県営名古屋空港・富士山静岡空港における防災ヘリコプター及び輸送機による広域支援
- ④濃尾平野（松陰東排水機場）の道路啓開・排水オペレーション計画連携の検証
- ⑤河川環境楽園における広域支援本部の設置、広域支援部隊の配備・出動

2. 各県市総合防災訓練



災害対策本部
(中部地方整備局)



漂流者の捜索と救助
(名古屋港)



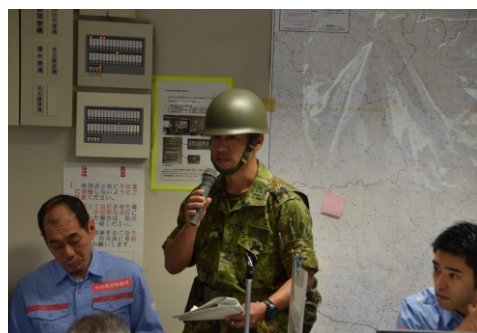
航空自衛隊の輸送機(C130)
によるTEC-FORCE輸送



濃尾平野排水オペレーション
(松陰東排水機場)



広域支援本部の設置
(河川環境楽園)



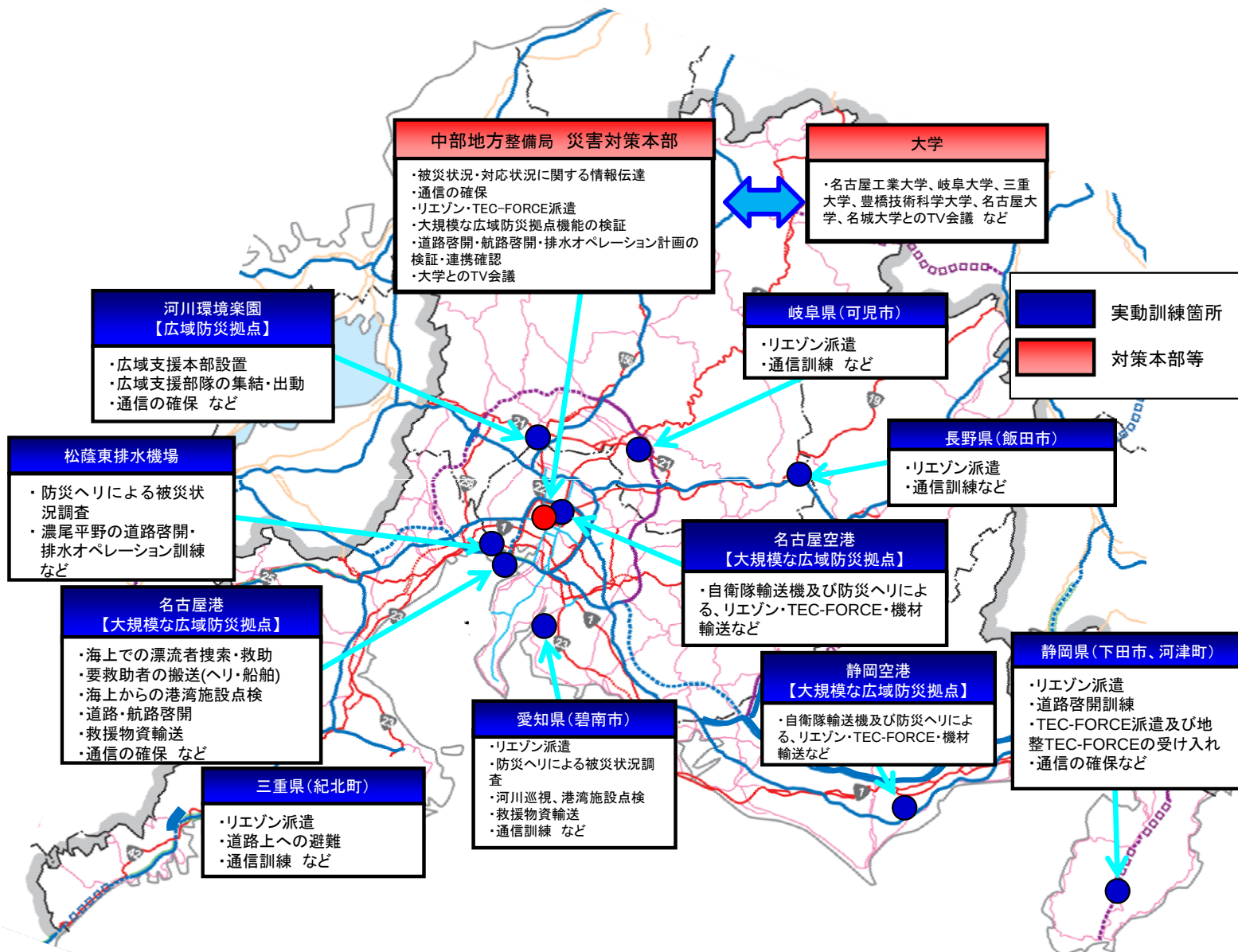
陸上自衛隊リエゾンの報告
(中部地整災害対策本部)

訓練全体のイメージ及びポイント

今回の訓練ポイント

- ①復旧救助活動が本格化する発災1日後を想定
- ②航空自衛隊と連携した大規模な広域防災拠点の活用
- ③道路啓開・航路啓開・排水オペレーションが一体となった総合啓開の実施

※この訓練は、中部圏地震防災基本戦略の優先的に取り組む連携課題「10. 関係機関相互の連携による防災訓練の実施」に該当する



中部地方整備局 災害対策本部

道路啓開・航路啓開・排水オペレーション計画を検証・連携を確認し、各計画が一体となった**総合啓開を実施**。また、各地の実働訓練会場、災害時協力協定を締結した大学とのテレビ会議を利用した**情報共有訓練**を実施。



本部参集状況

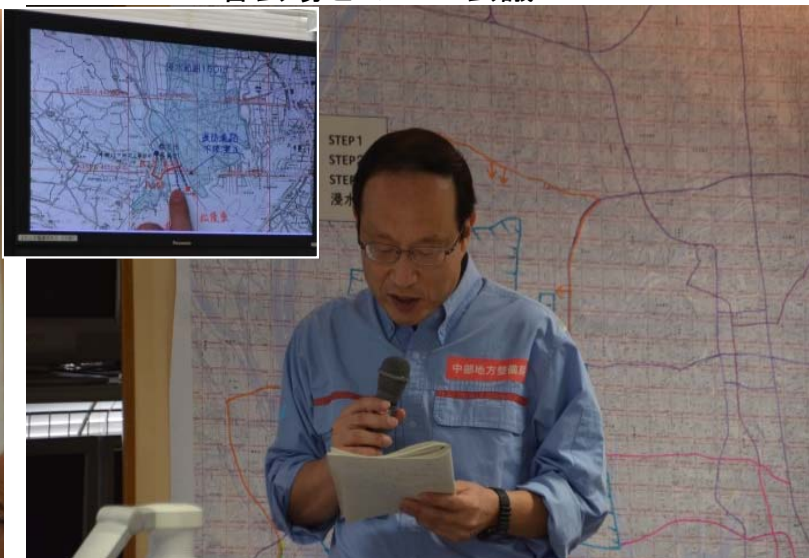


各会場と情報連絡をする災害対策本部長（中部地方整備局長）

各会場とのTV会議



道路啓開オペレーション計画の説明



排水オペレーション計画の説明



道路啓開訓練会場（河津町）との通信確保



広域支援本部（河川環境楽園）との通信確保

県営名古屋空港 富士山静岡空港 (大規模な広域防災拠点)

南海トラフ巨大地震により甚大な被害が発生し伊豆地域が孤立したことを想定し、中部地方整備局災害対策本部の指示により、伊豆地域に向けて、**航空自衛隊輸送機（C130）**で**TEC-FORCE**、**災害対策車両**を大規模な広域防災拠点（県営名古屋空港）から大規模な広域防災拠点（富士山静岡空港）へ**輸送**。



伊豆地域（下田市、河津町） 道路啓開

孤立した伊豆地域への広域支援を行うため、中部地方整備局の支援車両を集結。また、関東地方整備局のTEC-FORCEの支援及び車両が集結し、**中部・関東地方整備局合同で道路啓開訓練**を実施。また下田港では、**資機材海上運搬訓練**を実施。



中部地整・関東地整支援車両集結



道路啓開計画を説明



道路啓開（河津町役場前）



関東地方整備局TEC-FORCE隊長から
中部地整災害対策本部への報告



道路啓開（河津町梨本地区）



港湾業務艇によるTEC-FORCE
資機材海上運搬（下田港）

名古屋港（大規模な広域防災拠点） 航路啓開

名古屋港において甚大な被害が発生した、との想定に基づき、**岸壁の緊急点検、航路啓開**を行い、緊急物資海上輸送ルートを確認後、**緊急物資の海上輸送**などを実施。また、ヘリコプターによる漂流者救助や船舶による流出油回収を実施。



漂流者捜索・救助



岸壁緊急点検



【航路啓開 → 緊急物資輸送】

水中部確認



航路啓開（漂流物回収）



緊急物資海上輸送



緊急物資陸揚げ・陸上輸送

松陰東排水機場 排水オペレーション・道路啓開

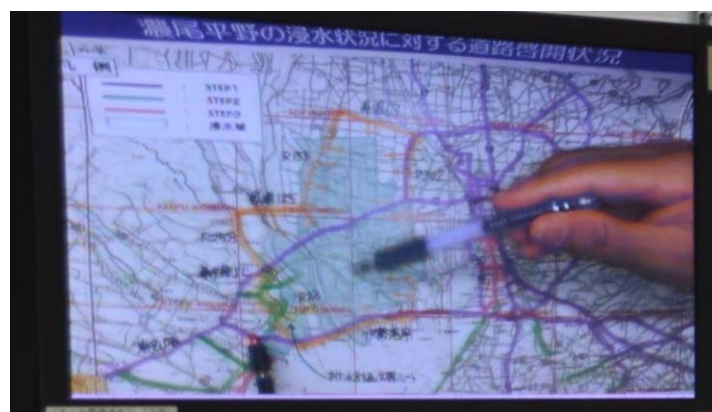
南海トラフ巨大地震により、濃尾平野のゼロメートル地帯では広範囲において津波による浸水被害を想定。被害状況を調査し、排水ポンプ車進入確保のため道路啓開を行い、松陰東排水機場にて排水オペレーション訓練を実施。



UAV、MMSによる被害状況調査



UAV (無人航空機) 飛行調査



道路啓開



河川環境楽園 広域支援本部設置

濃尾平野に広範囲に浸水が発生していることから、**広域支援本部を設置**し、後方支援を行う。また、応援部隊として北陸地方整備局の支援車両を含む災害対策用車両の集結・出動訓練、緊急物資の輸送訓練を実施。

支援車両集結



北陸地方整備局（応援部隊）

（一社）岐阜県建設業協会、（一社）日本建設業連合会中部支部、
（一社）プレストレストコンクリート建設業協会中部支部、
（一社）日本道路建設業協会中部支部、中日本高速道路（株）、
（一社）岐阜県トラック協会、（一社）中部地域づくり協会、防災エキスパート



広域支援本部



まんなか号

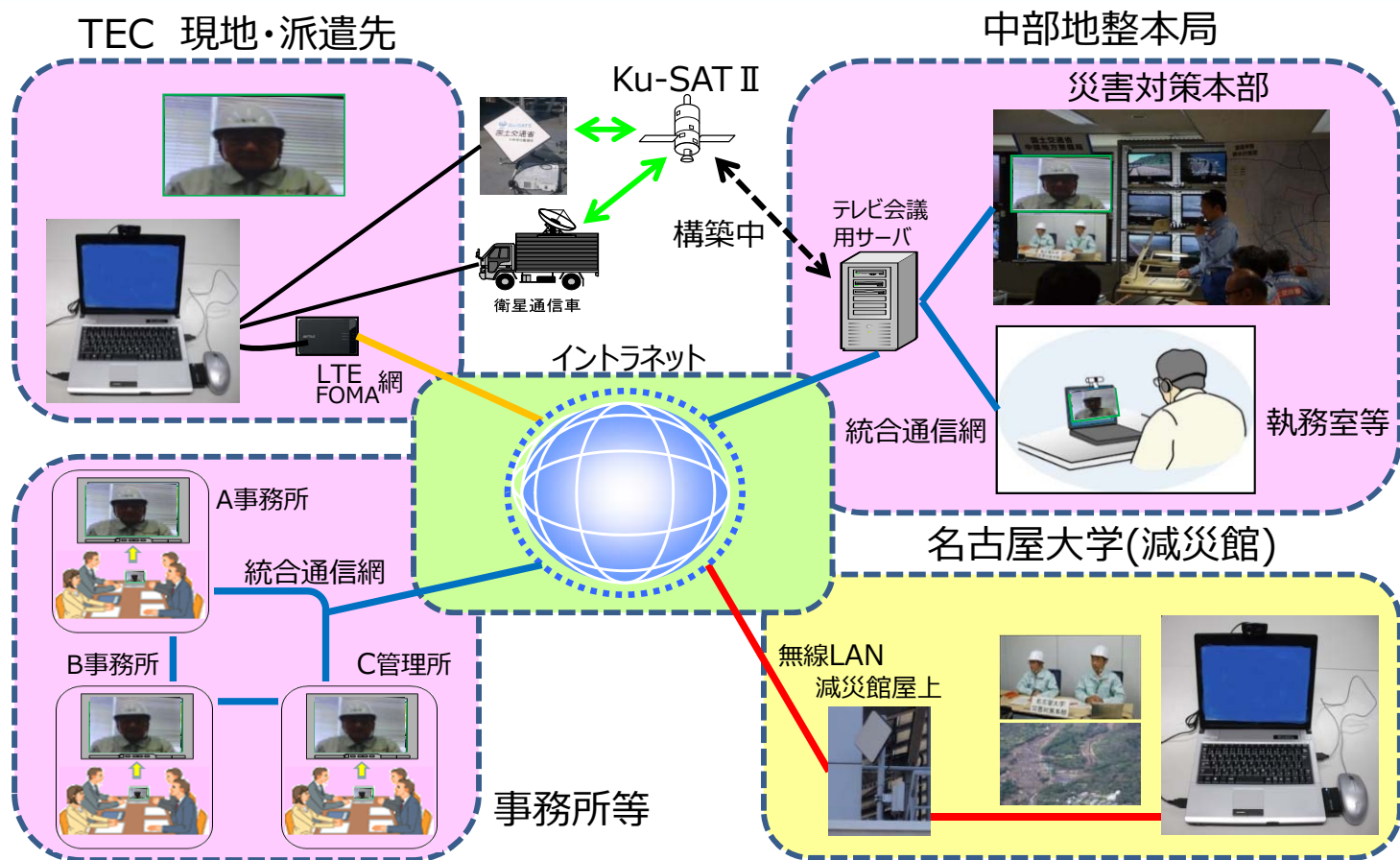
災害対策用ヘリからの被害状況報告



現場へ出動

多様な手段を用いた情報通信確保訓練

大学などの訓練実施地点と災害時協力協定を締結した、中部地方整備局災害対策本部との間で光ケーブル、T V 会議、衛星通信等、**多様な手段を用いた情報通信確保訓練**を実施。



名古屋大学（減災館）



名城大学



名古屋工業大学



三重大学



岐阜大学



豊橋技術科学大学



各県及び市の防災訓練との連携

各県及び市へのリエゾン、TEC-FORCEを派遣。
また、各県及び市と連携し、情報通信訓練、総合啓開（道路啓開等）
訓練を実施。

静岡県



TEC-FORCE資機材海上運搬（下田港）



道路啓開（河津町、梨本地区）



愛知県



県民を避難誘導



シェイクアウト



ヘリテレ映像を会場本部に送信



愛知県知事巡回

名古屋市



道路啓開(名古屋市)



名古屋市職員による訓練状況の報告

岐阜県

三重県

長野県



岐阜県災害対策本部会議

可児ふれあいパーク訓練会場



訓練会場



紀北町災害対策本部会議



災害対策本部へ報告する岐阜県リエゾン



照明車



飯田市の被災状況を情報収集

参加機関一覧

参加機関・人数

■参加機関：南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会の構成機関など
197団体、約8,250名

■参加車両等：車両200台、航空機21機、船舶47隻

【国の機関】

- ・中部管区警察局
- ・東海総合通信局
- ・中部地方整備局
- ・中部運輸局
- ・陸上自衛隊第10師団
- ・航空自衛隊 小牧基地
- ・名古屋海上保安部
- ・北陸地方整備局
- ・関東地方整備局

【訓練協力機関】

- ・名古屋大学
- ・名古屋工業大学
- ・岐阜大学
- ・三重大学
- ・豊橋技術科学大学

【地方公共団体】

- ・静岡県
- ・愛知県
- ・三重県
- ・岐阜県
- ・長野県
- ・名古屋市
- ・下田市
- ・河津町

【ライフライン等関係機関】

- ・名古屋港管理組合
- ・中日本高速道路株式会社
- ・一般社団法人 日本建設業連合会 中部支部
- ・一般社団法人 岐阜県建設業協会
- ・一般社団法人 日本道路建設業協会 中部支部
- ・一般社団法人 プレストレストコンクリート建設業協会 中部支部
- ・一般社団法人 日本埋立浚渫協会 中部支部
- ・一般社団法人 日本海上起重技術協会 中部支部
- ・中部港湾空港建設協会連合会
- ・全国浚渫業協会 東海支部
- ・一般社団法人 中部地域づくり協会
- ・一般社団法人 日本潜水協会 名古屋支部
- ・一般社団法人 海洋調査協会
- ・一般社団法人 愛知県トラック協会
- ・一般社団法人 岐阜県トラック協会
- ・名古屋港建設災害防止協会
- ・公益社団法人 名古屋清港会
- ・NPO法人 中部みなと防災ネット
- ・防災エキスパート

上記のほか市町村、病院、小・中・高等学校、民間企業など

国土交通省中部地方整備局 企画部防災課

〒460-8514 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

TEL: 052-953-8357

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練 (緊急災害現地対策本部設置訓練) 実施状況

目 的：南海トラフ地震を想定した広域かつ甚大な被害が予想される大規模災害に備え中部緊急災害現地対策本部運営設置訓練を行い、内閣府松本政務官とテレビ会議を実施するとともに、情報連絡体制の検証、意思決定等に係わるシュミレーションによる災害対策本部の運用検証を行うことにより、災害対策本部員のスキルアップを図り、連携強化を初めとした災害対応力の底上げを図ることを目的とする。

○日時：緊急災害現地対策本部設置訓練

平成26年11月4日(火)13:30～

緊急災害現地対策本部運営訓練・撤収訓練

平成26年11月5日(水)10:00～

○場所：愛知県自治センター（12階E会議室）

訓練想定 南海トラフ地震

○発生日時：平成26年11月5日（水）6時00分

○震源地：和歌山県南方沖

○地震規模：マグニチュード9.1

○最大震度：震度7

参加機関：内閣官房、内閣府、国土交通省、警察庁、総務省、消防庁、厚生労働省、農林水産省、気象庁、国土地理院、経済産業省、海上保安庁、環境省、防衛省、愛知県、岐阜県、三重県



(本部員) 会議状況



(本部員) 説明状況

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練 (緊急災害現地対策本部運営訓練・撤収訓練) 実施状況

現地対策本部設置



【会場設置 作業状況】



【会場設置 通信機器設置】



【会場設置 プリンター、FAX等電子機器設置】



【会場設置 液晶テレビ設置(モニター)】

現地対策本部会議



【会場全体風景】

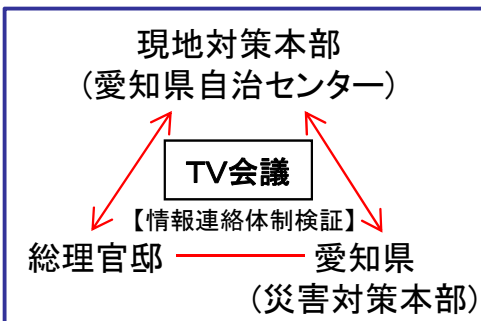


【被害状況を説明する本部要員】



【被災箇所を確認する松本政務官】

現地対策本部TV会議



【TV会議実施状況】



【TV会議を使用し情報共有にあたる本部員】



【TV会議を行う松本政務官】



【TV会議を行う西村副大臣】



【TV会議を行う大村知事】